

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 愛の家グループホーム土佐蓮池

ユニット名 2階

自己評価実施年月日 平成 20 年 9 月 6 日

記録者氏名 清水千佳

記録年月日 平成 20 年 9 月 20 日

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>以下の理念をつくりあげてサービスを行っている。我々は、</p> <p>一、その人らしい、快適で穏やかなシルバーライフを常にサポートします。</p> <p>一、心を込めた親切なサービスに努め、その心を磨き続けます。</p> <p>一、さまざまな機会を通じて、地域の人々とのふれ合いを大切にします。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>各ユニットのスタッフルームにかかげ、目につくようにしている。管理者と職員で理念を毎日のように唱え、実践するよう取り組んでいる</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>地域の方々との関わりの中で（散歩時、推進会議時）理解して頂くようお話している</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>施設の庭作りの時などに花の苗を頂いたり、花を差し上げたり、施設独自のカレンダーをもってご挨拶に行ったり努力している</p>	<p>挨拶だけでなく他の会話も出来るように努めたい</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>近くの保育園・小学校などの運動会や行事、地域の祭り等に参加し、交流している</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近くの公園の草引きをさせて頂こうと計画していたが、当日ホームの事情で出来なかった	○	今後も地域の方々に貢献出来るよう取り組む。 (草引き、雑巾縫い等)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	建物についての改善は出来ないが、建物を工夫して活用している。(居室・フロアー等)		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用料についてのご意見を頂くが、それについてはサービス内容の説明にて理解を得ている。行事等のご意見を頂き、サービス向上に生かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ある時は出向かせて頂き、また時にはお電話等で指導して頂いたりと質の向上に努めている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前には活用しているご利用者様がおられたが、現在は該当される方がおられない。今後もニーズに応じてご支援して行きたい		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については、施設職員一丸となって注意し防止に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	大切なものの扱いや、解約時の経費面等、不安や疑問のお尋ねに対して十分な説明をさせて頂き、理解や納得されるよう図っている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満や苦情を表せる機会は設けている。反映できるようにしている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	お小遣い出納帳は毎月末で〆切、ご家族へコピーをして遅らせて頂いている。印やサインをもらってホームへ帰して頂いている。ご利用者の様子は1回/3ヶ月で報告している	○ 今後も、ご入居様個人の様子がご家族様に詳しくわかるよう〈ほほえみレター〉や〈蓮池ふれあい広場〉を1回/月で発送し続けたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置や、家族会等で意見をお聞かせ頂けるようにし、対応させて頂いている	○ 時間を要するものもあって、一部ご意見を反映できていない部分があるが、反映できるよう取り組んでいきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会、ミーティング等で職員より意見や提案を頂き、見直しや改善に努めている	○ 職員が意見や提案がしやすいように、コミュニケーションをとっていく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要時には4人体制にして職員を増員し、要望にお答え出来るよう調整に努めている	○ ご家族様と昼食を共にする行事などは、大変喜んで頂いているので、今後も続けて行けるよう努力したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動に関しては、出来るだけ利用者がダメージを受けないよう最小限に抑えるようにしている		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画を立てて研修を受ける機会を確保している	○	働きながらトレーニング出来るよう取組んでいきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全くしていないわけではないが、この働きかけの取り組みは少ない	○	もっと交流できる機会を探し、見つけてサービスの質の向上のため取組んでいく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減に努めているが、十分とは言えない	○	話し合いの時をもち、工夫や環境を作っていきたい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の働きを認め、評価も行っている。資格の取得等進め、案内等も提供している	○	向上心が持てるよう励まし続け努力していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	困っている事、不安な事、ご要望等は相談の時からお尋ねし、受けとめ対応するよう努力している	○	排泄に関して、パットから介助へ、食事に関して、形態等受け止めて介助し安心感を持って頂いている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面談から、ご利用者に対しての困りごと等は十分に話を聞かせて頂き対応しているため安心して頂いている		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族及び関係者の方々から情報を得、支援すべきニーズを見極め対応に努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族に頻回に来訪して頂いたり、同じ地域から入居されているお知り合いの方等おられ、他のユニットからも遊びに来て頂くなど工夫している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の情報を把握し、経験や知識にもとづいて、畑仕事や家事など指導してもらったり、地域の事など教えて頂いたり、悲しかった戦争の話、人生における失敗と成功の話など共感して過ごさせて頂いている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に近況報告するとともにご本人の希望、思い、ご家族の思いを納得されるまで何回も話し合っている	○	ご家族が遠くに住まわれている方や面会に来られない家族の方には、手紙・写真等で近況報告を行っていききたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	年に数回の家族会と敬老の日の食事会を行っている。ホームに来やすい雰囲気作りに努めている。又、家族等、面会に訪れた際には近況など話し合っている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の馴染みの場には、ご本人、ご家族と話し合い外出したり、ドライブの時も近くに行かれた際は地元の話がされたりしている。また、一度も自宅に帰られていない方に対してもご家族様と相談し実現に向けて努力している		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクや手伝い等、一緒に出来る様に心掛けていく。又会話も職員が交わり多くの利用者とは話せるよう心掛けている		ゆっくりとリビングでくつろいでいる時、いつも同じ利用者同士、同じ場所で過ごされているので時には、別の利用者との会話を楽しむようにしていきたい
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された方（入院など）への訪問は、ご家族との話し合いによって訪問したりしている		退去された家族とも連絡を取っていこうと思う

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりとの接する時間を少しでも多くとるように努めている。困難な方にはそれに近づけるためにはと、スタッフ間で話し合ったり、ご家族と話し検討している	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人との会話の中から色々な生活歴など読み取り、ご本人、ご家族に聞いたりしその人らしい生活を提供できるように努めている	○ ご本人の思いがスタッフ、家族に分かっている部分があるが、どうする事も出来ないことがある。今後どうしていったらいいのかご家族とも話し合いご本人の思いに近づけていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人ひとりの出来る事、したい事を把握し	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族に意向を聞き、本人の要望を聞いたり、スタッフの気づきを元にケアカンファレンスを行い、介護計画を作成している	○ ご家族が参加したカンファレンスも行っていきたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態に変化が生じた場合はご家族に相談し、話し合いし、計画見直しを行って作成している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づき、様子等を記録し、スタッフとの話し合いを通じて見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	一人ひとりとの接する時間を少しでも多くとるように努めている。困難な方にはそれに近づけるためにはと、スタッフ間で話し合ったり、ご家族と話し検討している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	文化的な事についてはボランティアをよく利用させていただき、(唄・絵画展・菊花展等)支援している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご家族や本人の意向及び必要に応じて理美容等をも利用し、支援に努めている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は必要がなく協働していないが、今後必要性が出てきた時には協働して取り組みたい		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週一回、かかりつけ医の往診や訪問看護等の支援を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医が必要な方には定期的に受診し利用者の変化に応じて定期的以外にも相談している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	3週間に1回訪問看護がありバイタルチェックと利用者の健康相談を行っている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した場合、ご家族と情報交換行い、お見舞いの際には様子を聞かせて頂いたりし、早期に退院できるように準備を行う		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に対してはご家族と話し合い、入院等の対応を行っている。終末期、ご家族・ご本人の希望であればいつでも対応できるよう、スタッフ同士話し合っている	○	終末期を行う場合には、ご家族・かかりつけ医・スタッフ・訪問看護と話し合い行っていきたい
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	常にご家族・かかりつけ医と相談し、本人にとってのより良い日々を考えている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	自宅からグループホームへの移り住む際には、な かなか納得されていない方へは、ご家族及びス タッフ、本人とよく話し合い、移り住めるよう に工夫する		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	記録には他の利用者の名前は書かないようにイニ シャルで表している。名前等呼ぶ際にもご本人、 ご家族に不快にならないよう心掛けている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	利用者と接する時にはご本人の声を少しでも多く 聞けるよう、声掛け等を工夫し努めている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	利用者の希望に添えられる日と、スタッフの人数 及び、他の利用者との都合等で希望に添えられ ない日がある。その場合利用者と話し合い、やむ を得ず時間や日を変えていただく場合もある		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	本人の希望に応じた髪型。理髪店に行き、服も利 用者と一緒に買い物支援を行う。また、ご家族に も相談し、その利用者の好みにあった服を持って 来て頂いている	○	化粧品等持っている利用者はいるが、使用されて いる方は少なく、化粧が出来る様に支援してい きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台拭き、食器洗いを希望者が行っている。各個人の好き嫌いを把握し、また出来る限り本人で食べて頂き、できない所を支援している	○	食事の準備にも参加出来るようにもっていきたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人、またはご家族等に以前好んでいた物を聞き、本人の希望に応じている		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレ誘導は時間を決めるのではなく、各個人に合った時間でトイレ誘導を行い、排泄出来るように努めている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の希望を本人に聞いたりし、入浴拒否の方にも無理強いはしない	○	以前から入浴を好まない方にも入浴が楽しめる(習慣になる)ように支援したい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の自由に応じて自室で過ごしていただく。昼の活動を上げ、夜間の安眠に努めている	○	日中、リビングなどで短時間でも横になったり、足を伸ばすスペースを用いたい
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や食器洗い、洗濯など参加できる方、希望される方には協力してもらっている	○	日用品や食材などの買出しなどにも参加してもらおう

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出や買い物などで希望される方には、ご自身で支払い等できるよう支援している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人希望にて、散歩、店（本屋・洋服店）などに出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望を聞き、外出の機会をもうけている	○	外泊（温泉旅行など）も考えていきたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族とも連絡をとり、本人の希望があるとき、電話をしている。利用者が書かれた手紙をスタッフが投函している	○	時候の挨拶状（暑中見舞いや年賀状）なども取り入れていきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者が来て下さった際には、いつでも気軽に訪問して頂くように心掛けている	○	訪問者との気がねない場所を提供したい
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	歩行不安定な方にも、いつも座って頂くのではなく自由に歩いて頂き、見守り対応を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニット出入り口の鍵は、以前利用者がエレベーターに閉じ込められておられたり、ユニット入口の鍵を希望されているご家族もいるため、スタッフが目の行き届かない時には鍵をかけている事もある	○	スタッフの目の行き届く日には、少しでも多く開けている時間を増やしていくよう努めたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ同士の連絡を取り合うとともに、記録や他の利用者の介助を行っている際にも常に見守りを行い、安全に配慮している	○	居室でも長い時間過ごされている利用者についても、プライバシーに配慮しながら、見守り、声掛けをより一層全スタッフで取り組んでいきたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品類は、スタッフルームの保管庫に鍵をかけ対応している。異食行為の方がいるため、洗剤等は保管場所に鍵をする	○	全利用者の方が使用されている手洗い石鹸の場所を考えていきたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止を防ぐ事のために日頃からスタッフ間で話し合いを行っている。ホームでの避難訓練を定期的に行っている。	○	講習、勉強会にも積極的に参加していきたい
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全スタッフ定期的に救急法を受けている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム全体や各ユニット毎の消防避難訓練を行っている。災害時の事も、地域、行政と連絡し協力を得られるようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	家族には状態の変化、気付きを随時話し合っ て対応を行う		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	毎日の食事量、排尿、排便チェック、バイタル チェック、表情などの小さな異変にも気付き スタッフ同士話し合い看護師、担当医に相談し ている	○	全スタッフが少しの変化にも気付き排便の有無 だけでなく状態にも見落としなく、又表情の 変化、体温等にも気付けるよう取り組んでい く
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	リーダーが薬のセットをし、毎食後個人別の 入れ物に入れる際にもチェックを行う。服薬 時には2名にて確認を行い利用者本人の前 でも名前を読み上げる	○	スタッフ全員が薬の内容を理解していきたく い
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し 、予防と対応のための飲食物の工夫や身体 を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い便秘が続いている方 には緩下剤を服用している。又、水分チェッ ク、体操、腹部マッサージなども行う		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	毎食後口腔ケアを行っている。夜間には義 歯を洗浄液に浸けている	○	自分で口腔ケアを行っている方への声掛 け、洗浄を行っていきたく
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量を毎食チェックを行い、水分 むせ込みの方には、茶ゼリー、トロミで対 応し、十分な量が摂れるよう支援している。 又、食事は栄養士によってバランスの取れ た食事、各個人のカロリーに合わせた食 事量の調節を行う		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防接種を実施し、フロア・手すり・トイレ内の掃除の際は、ジアンック消毒を毎日行う。又、外部からの感染を持ち込まないよう職員側もきを配ったり外出から帰った後は必ずうがい・手洗いを忘れず行う		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	買い置きをあまりせず新しい物を購入。調理器具や布巾等もジアンックや熱湯で消毒している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりに花などを植え近隣の人達と話をしたり挨拶を行い親近感を持っていただきホームの方にも気軽に出入りできるようにしていきたい		天候の良い日には外に出てお茶を飲んだり、近隣の人達とも楽しく話し合うスペースを作っていきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング、廊下等にも季節感ある壁画や花を飾り季節を感じて頂く。又、壁画作りにも利用者が参加されている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事のテーブル・椅子以外に3人掛けソファ、1人掛けソファを置いたりゆっくりと足を伸ばせて横になり、冬には掘りコタツとしてゆっくりとさせていただく場所を作り提供している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室については常に家族と利用者と相談し、使い 慣れた家具を持ってきて頂き、新しい物を購入す 際には利用者と一緒に買いに行く。又、家族の 写真なども飾ったりしている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気は常に行い、天気の良い日は、窓を開けてい る。又、温度調節も温度設定し各個人に合わせて 調節している。エアコンの掃除も定期的に行って いる		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下、リビング、浴室に手すりをつけたり歩行困 難な方にはシャワーチェア、浴槽にはリフトで対 応を行っている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	トイレ、自室等には標識を掛けタンスには何が 入っているかをラベルを貼って中身を分かりやす くしている。又、日々の生活の中では日替りカレ ンダーや食事のメニューとホームの住所を書いた ものを目につくところにかけている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	畑に野菜を一緒に植えたり、草引き、水やり、収 穫をそれぞれ役割ごとに行っている	○	建物の南側に花壇を作り、お茶など楽しめる空間 を作りたい

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)